マネージドスイッチでの入力または出力アクセ スコントロールリスト(ACL)のバインド

目的

アクセスコントロールリスト(ACL)は、セキュリティの向上に使用されるネットワークトラ フィックフィルタと関連付けられたアクションのリストです。ユーザが特定のリソースにア クセスするのをブロックまたは許可するACLには、ネットワークデバイスへのアクセスを許 可または拒否するホストが含まれています。

ACLは、入力インターフェイスだけでなく、出力インターフェイスにも適用できます。入力 (インバウンド)および出力(アウトバウンド)ACLの目的は、ネットワーク内のデバイス で送受信できるネットワークトラフィックのタイプを指定することです。この機能を使用す ると、ネットワーク内のインターネットまたは組織のファイアウォールへのトラフィックを フィルタリングできます。

この記事では、スイッチで入力または出力ACLを設定およびバインドする方法について説明 します。

該当するデバイス

- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx550Xシリーズ

[Software Version]

• 2.2.0.66

入力または出力ACLの設定

重要:スイッチでACLとアクセスコントロールエントリ(ACE)が設定されていることを確認 します。IPv4ベースのACLおよびACEを設定するには、ここをクリックして<u>手順を確認</u>して ください。IPv6ベースの場合は、ここをクリ<u>ックします</u>。MACベースのACLとACEを設定 するには、ここをクリックしてください。

インターフェイスでの入力ACLの設定

ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[Access Control] > [ACL Binding (Port)]を選択します。

注:このシナリオでは、SG350-28MPスイッチが使用されます。



ステップ2:ACLを適用するインターフェイスの横にあるチェックボックスをオンにし、[Edit]をクリックします。

注:この例では、ACLがGE5インターフェイスに適用されます。

ACL Binding Table							
Filte	er: Interface	Type equal	sto Port ▼	Go			
	Entry No.	Interface	Input ACL				
			MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACI		
	1	GE1					
	2	GE2					
	3	GE3					
	4	GE4					
	5	GE5					
	6	GE6					
	7	GE7					
	8	GE8					
	9	GE9					
	10	GE10					
	11	GE11					
	12	GE12					
	13	GE13					
	14	GE14					
	15	GE15					
	16	GE16					
	17	GE17					
	18	GE18					
	19	GE19					
	20	GE20					
	21	GE21					
	22	GE22					
	23	GE23					
	24	GE24					
	25	GE25					
	26	GE26					
	27	GE27					
	28	GE28					
	Copy Sett	ings	Edit		lear		

ステップ3:インターフェイスに入力ACLを設定するには、目的の[入力ACL]チェックボック スをオンにします。

注:この例では、MACベースのACLが選択されています。

Interface:	● Port GE5 ▼ ○ LAG 1 ▼
Input ACL	
IPv4-Based ACL:	ACL1 V
Default Action:	Deny Any Deny Any
Output ACL	
MAC-Based ACL:	ACL1 V
IPv4-Based ACL:	Ŧ
IPv6-Based ACL:	Ŧ
Default Action:	 Deny Any Permit Any
Apply Clos	Se l

注:IPv4またはIPv6ベースのACLをバインドする場合は、をクリックして適宜選択します。

ステップ4:対応するドロップダウンリストからACLを選択します。

注:この例では、事前設定されたMACベースACL ACL1が選択されています。

Interface:
Input ACL
MAC-Based ACL: ACL1 V IPv4-Based ACL: V
Default Action: Deny Any Permit Any
Output ACL
MAC-Based ACL: ACL1 V
IPv4-Based ACL:
IPv6-Based ACL:
Default Action: Deny Any Permit Any
Apply Close

ステップ5:[Default Action]オプションボタンをクリックします。

Interface: Port GE5 •) LAG 1 T
Input ACL	
MAC-Based ACL: ACL1 V	
IPv4-Based ACL:	
IPv6-Based ACL:	
Default Action: O Deny Any	
Output ACL	
MAC-Based ACL: ACL1 V	
IPv4-Based ACL:	
IPv6-Based ACL:	
Default Action: Deny Any Permit Any 	
Apply Close	

次のオプションがあります。

- Deny Any:スイッチは、ACLの必須条件を満たしていないパケットをドロップします。
- [Permit Any]:スイッチは、ACLの必須条件を満たすパケットを転送します。

ステップ6:[**Apply**]をクリック**し**、実行コンフィギュレーションファイルに変更を保存してから、[**Close**]をクリ**ックします**。

ステップ7:ACLバインディングテーブルに、選択したインターフェイスに設定されている ACLが表示されます。[保**存]をクリ**ックして、スタートアップコンフィギュレーションファ イルを更新します。

	28	B-Port (Gigabit	PoE M	lanage	<mark>⊗</mark> save d Switc	cisco h	D Language	
	ACL Binding Table								
	Filte	er: Interface	Type equal	sto Port ▼	Go				
		Entry No.	Interface	Input ACL				Output AC	
				MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL	Default Action	MAC ACL	
		1	GE1						
		2	GE2						
		3	GE3						
		4	GE4						
I		5	GE5	ACL1			Deny Any		
		6	GE6						
		7	GE7						
		8	GE8						

インターフェイスでの出力ACLの設定

重要:手順を進める前に、スイッチにMACベースのACLとアクセスコントロールエントリ (ACE)がすでに作成されていることを確認してください。詳細については、ここをクリック してください。

ステップ1:Webベースのユーティリティで、[Access Control] > [ACL Binding (Port)]を選択 します。

注:このシナリオでは、SG350-28MPスイッチが使用されます。



ステップ2:ACLを適用するインターフェイスの横にあるチェックボックスをオンにし、[Edit]をクリックします。

注:この例では、GE6が選択されています。

ACL Binding Table							
Filte	Filter: Interface Type equals to Port ▼ Go						
	Entry No.	Interface	Input ACL				
			MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL		
	1	GE1					
	2	GE2					
	3	GE3					
	4	GE4					
	5	GE5	_				
	6	GE6					
	7	GE7					
	8	GE8					
	9	GE9					
	10	GE10					
	11	GE11					
	12	GE12					
	13	GE13					
	14	GE14					
	15	GE15					
	16	GE16					
	17	GE17					
	18	GE18					
	19	GE19					
	20	GE20					
	21	GE21					
	22	GE22					
	23	GE23					
	24	GE24					
	25	GE25					
	26	GE26					
	27	GE27					
	28	GE28					
	Copy Sett	ings	Edit		Clear		

ステップ3:インターフェイスに入力ACLを設定するには、目的の[出力ACL]チェックボック スをオンにします。

注:この例では、MACベースのACLが選択されています。

Interface:	● Port GE5 ▼ ○ LAG 1 ▼
Input ACL	
MAC-Based ACL:	ACL1 V
IPv4-Based ACL:	T
IPv6-Based ACL:	T
Default Action:	 Deny Any Permit Any
Output ACL	
MAC-Based ACL:	ACL2 V
IPv4-Based ACL:	V
IPv6-Based ACL:	T
Default Action:	 Deny Any Permit Any
Apply Clos	Se

注:IPv4またはIPv6ベースのACLをバインドする場合は、をクリックして適宜選択します。

ステップ4:[MAC-Based ACL]ドロップダウンリストからACLを選択します。

注:この例では、事前設定されたMACベースACL ACL2が選択されています。

Interface:	● Port GE6 ▼ ○ LAG 1 ▼
Input ACL	
MAC-Based ACL:	ACL1 V
IPv4-Based ACL:	W
Default Action:	Deny AnyPermit Any
Output ACL	
MAC-Based ACL	ACL2 V
IPv4-Based ACL:	- Y
Default Action:	 Deny Any Permit Any
Apply Clos	se

ステップ5:[Default Action]オプションボタンをクリックします。

Interface:	● Port GE6 ▼ ○ LAG 1 ▼
Input ACL	
 MAC-Based ACL: IPv4-Based ACL: 	ACL1 V
Default Action:	 Deny Any Permit Any
Output ACL	
MAC-Based ACL:	ACL2 V
IPv4-Based ACL:	V
Default Action:	 Deny Any Permit Any
Apply Clo	se

次のオプションがあります。

- Deny Any:スイッチは、ACLの必須条件を満たしていないパケットをドロップします。
- [Permit Any]:スイッチは、ACLの必須条件を満たすパケットを転送します。

ステップ6:[**Apply**]をクリック**し**、実行コンフィギュレーションファイルに変更を保存してから、[**Close**]をクリ**ックします**。

ステップ7:ACLバインディングテーブルに、選択したインターフェイスに設定されている ACLが表示されます。[保**存]をクリ**ックして、スタートアップコンフィギュレーションファ イルを更新します。

					Save	cisco	Language:	English	•
ort (Gigabit	PoE M	lanage	d Switc	:h				
ding	(Port)								
bou totion	bound with either a policy or an ACL, but not both. Iction is to discard (Deny Any) all the packets that do not meet the rules in an ACL. You can override the default ACL to forward those packets by configuring Permit Any on the desired ports.								
ng Ta	ble								
rface	Type equal	sto Port 🔻	Go						
No.	Interface	Input ACL			Output ACL				
		MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL	Default Action	MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL	Default Action
1	GE1								
2	GE2								
3	GE3								
4	GE4								
5	GE5	ACL1			Deny Any				
6	GE6					ACL2			Permit Any
7	GE7								
8	GE8								

注:出力ACLと入力ACLの両方を同時に設定する場合は、入力ACLと出力ACLの両方のエリアを設定して設定できます。

これで、スイッチのインターフェイスに出力ACLと入力ACLを設定できました。